

# 令和元年度 高松市生徒みらい議会 を開催しました

今年度は、8月26日（月）に、高松市議会本会議場および各委員会室を会場に、高松市立中学校11校から各2名、高松第一高等学校から8名の計30名が集まり、開催いたしました。

高松市生徒みらい議会は、参加生徒が市議会の仕組みを知り、市政についての理解を深めるとともに、地域や郷土への関心を高め、将来の有権者として、よりよいまちづくりに主体的に関わっていくこうとする態度を育むことを目的にしており、今年度は、『「情報社会を主体的に生き抜く力を育むまち 高松」の実現を目指して』を全体テーマとしました。

当日は、最初に本会議場にて、市長、市議会議長のあいさつ、及び議会運営委員長から議会の仕組みについての説明がありました。その後、生徒は四つの委員会に分かれ、「情報リテラシーを身に付けよう」「ネット依存やゲーム障害から身を守ろう」の二つのテーマについて、グループ協議を行いました。そして、再び本会議場に集まり、「高松子ども宣言」を全員で朗唱した後、各委員会での話し合いの成果を発表し合う全体会を行い、市長の総評と教育長のあいさつをもって、閉会しました。

全体会では、各委員会の代表から、熱心な話し合いが行われたことがうかがえる素晴らしい発表が行われ、生徒はとても真剣な表情で聞いていました。各委員会の発表に対する意見交換も活発に行われ、参加生徒一人一人が自分ごととして問題を捉え、一生懸命に考えている様子が伝わってきました。

参加生徒は、市議会や政治に対する関心を高めるとともに、他校の生徒と話し合うことで、視野が広がり、良い刺激を受けることができたようです。来年度も参加したいという声もありました。

話し合った内容を市内の児童生徒に発信し、ネット依存やゲーム障害の予防、克服に向けての各校の取組の参考にしてもらいたいという参加生徒たちの総意に基づいて、後日、「高松市生徒みらい議会報告」を作成し、市内全小・中学校及び高松第一高等学校に送付しました。



全体会での意見発表



委員会での協議



「高松子ども宣言」の朗唱